

[資料②-2]

「重点取組業務 自己点検シート」の自己評価の基準

I 評価欄の基準について

数値指標の目標値と実績値による評価はつぎのとおり。

(1) 毎年の数値目標の場合の評価

評価	第三期（平成 28-30 年度）
A：数値目標を上回る成果を達成	110%以上
B：数値目標を達成	90%以上110%未満
C：数値目標を下回った	60%以上90%未満
D：数値目標をかなり下回っており、 大幅な改善が必要	60%未満

* 目標値を100%とする項目については達成度100%をAとし、
90%以上100%未満をBとする（【重点取組業務 自己点検シート】連番 3,7)

* 単年度毎の評価とし、3年間を通じての4段階評価※は行わない。

※ 3年間の総括は総合評価で行う。(1、2年目の総合評価は各年度について記述する。)

(2) 最終年度に目標値達成（最終年度に〇〇）の場合の1年目、2年目の評価

（【重点取組業務 自己点検シート】連番 5,8,26)

A：最終年度の数値目標を上回ることが予測される

B：最終年度の数値目標達成に向けて順調に進捗

C：最終年度の数値目標達成に困難が予測される

D：最終年度の数値目標をかなり下回っており大幅な改善が必要

(3) 最終年度に目標値達成（最終年度に〇〇）の場合の最終年度の評価

A：最終年度の数値目標の110%以上を達成

B：目標達成度90%以上110%未満

C：目標達成度60%以上90%未満

D：目標達成できず（60%未満）

* 目標値を100%とする項目については達成度100%をAとし、

90%以上100%未満をBとする（【重点取組業務 自己点検シート】連番 5)

II 特記事項欄の記載について

目標値と実績値が大きく違った場合、説明を簡潔に記入。

基本的には、評価A、Bの場合、記述しない。